

能登半島地震 石川地区・富山地区の状況について

(石川地区 片岡報告)

2024年1月1日午後4時10分頃に発生した、能登半島地震の影響について、1月3日午前10時現在の情報をご報告いたします。

富山地区(富山・魚津・高岡・小矢部)について

- ・富山教会が、聖堂や祭壇の装飾をはじめ、いたるところで倒落、破損等。
- ・魚津、高岡、小矢部についても同様にご像やモノの散乱があるものの、
→4教会とも、建物自体には今のところ大きな損傷は見当たらないとのこと。

石川地区について

- ・金沢教会、内灘教会、三馬教会、羽咋教会は、多少ご像やモノの倒落、破損等。
- ・小松教会はそれに加え、鐘楼外壁の多少の崩れ等があったものの、これらの教会については、おおむね片付いている模様。

七尾教会について

- ・1/2 状況確認。
- ・建物自体は、今のところ外壁の多少の崩れがあった程度。
- ・室内は聖堂、香部屋をはじめ、司祭館兼信徒の交流の場としてつかっている台所、居間など、ご像や棚、照明器具、ガラスや食器などが散乱。後片付けには多少時間がかかる見通し。
- ・併設する聖母幼稚園も建物は新しいものの、外構をはじめ多少の崩れをはじめ、室内も本や教材などが散乱している様子。
- ・七尾教会の信徒はおおむね安否無事を確認。
- ・ライフラインについては(1/3 朝現在)、水道がとまっているものの、電気は教会、幼稚園は復旧している。

輪島教会について

- ・1/2 七尾から輪島まで足を延ばしたが、主要道路が崩落や隆起、亀裂がはいり、穴水まではなんとか行けたが、その先は大渋滞で車も動かなくなり、1/2 は状況確認断念。
- ・隣接する、うみの星幼稚園の園長から写真を送っていただく。
- ・教会は、全壊まではいかないものの、外壁もかなり崩れ、室内も天井のものをはじめ大きなマリア像、祭壇の天板なども落ちている。被害の大きさを感ずる。また建物は2007年の能登半島地震の際の影響も残っているので、危険な状態ともいえる。
- ・写真を撮ってくださった、園長先生のご自宅が被災されており、輪島教会の信徒も1人の日本人信徒、ミサに来ているフィリピン信徒の多くも1/4 朝までに安否は確認。また2人のフィリピンの方のご自宅が倒壊とした情報あり。

・現地までの道路状況が、非常に悪いので、自衛隊、行政支援も苦労している様子。
報道ニュースのたびに、被害者の方の数も増えております。また夜は氷点下を下まわる寒さです。とくに地方ですのでガソリンスタンドも少なく、燃料も足りず、家が余震で崩れるかもしれない危険もあるので、車中泊されている方々がほとんどです。どうぞお祈りください。